

当院で乳がん手術を受けた患者さんへ
乳癌転移リンパ節における免疫逃避機構に関する観察研究

下記の臨床研究を京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて行っています。本研究の対象者に該当する方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は解析から削除しますので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1．研究の目的・意義

本研究では乳がんリンパ節転移のメカニズムを解明することを意義としています。腋窩リンパ節転移陽性乳がん患者さんにおいて、手術で摘出されたリンパ節でリンパ球の種類、免疫系マーカー、がん遺伝子である Yes-associated Protein (YAP)の状態を比べ、病気の見通しとの関連を検討することを目的としています。

2．研究機関、研究責任者

研究代表機関：京都大学医学部附属病院

共同研究機関：岩手医科大学

研究責任者：河口浩介 京都大学医学部附属病院 乳腺外科 助教

3．研究実施期間

実施期間：研究機関の長の実施許可日から 2026 年 3 月 31 日まで

4．対象となる患者さん

2000年1月1日から2022年12月31日までの間に京都大学医学部附属病院乳腺外科にて、原発性浸潤性乳癌、同側腋窩リンパ節転移陽性と診断され、腋窩リンパ節郭清を行われた患者さん。

5．研究の方法

2000 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの診療記録、血液検査、病理標本を利用します。

利用する情報・試料の項目

予後・治療効果に関する情報、乳癌の病歴(病状、治療内容など)に関する情報、病理組織本、血液検査

6．情報管理責任者

河口浩介 京都大学医学部附属病院 乳腺外科 助教

7．情報セキュリティ、仮名化について

扱うデータには個人を特定可能な情報は含まず、すべて仮名化での管理を行います。

すべての情報は当研究室で厳重に保管管理を行います。

8．研究資金、利益相反について

本研究は乳腺科の研究資金を用いて行います。利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

9．研究責任者およびお問い合わせ先

河口浩介

京都大学医学部附属病院 手術部/乳腺外科 助教

〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町 54

TEL：075-751-3660 FAX：075-751-3616

(E-mail) masahiro@kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp